

令和 7 年度大学院入学試験事前課題 (第 2 次募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した 1 科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答は口述試験時に口頭で行う。解答用紙を手元に用意しておくこと。（解答用紙を提出する必要はない。また、問題用紙は回収しない。）

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第2各学年の目標及び内容」「第5学年及び第6学年」「3 内容の取扱い」(3)イでは、鑑賞教材の取り扱いについて「音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く喜びを深めやすい曲」*としている。

このような扱いは具体的にどのような学習活動によって意味のあるものとなるか。実践事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，p.124

◎ 声楽

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』及び『中学校学習指導要領（平成29年告示）』「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第1 目標」には、「表現及び鑑賞の〔幅広い〕活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽〔、音楽文化〕と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」*とある（〔 〕は中学校）。歌唱における「音楽的な見方・考え方を働かせ」た学習活動とはどのようなことが考えられるか、あなたの考えを述べなさい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，p.116；同『中学校学習指導要領（平成29年告示）』東山書房，p.99

◎ 器楽

あなたがこれまでに取り組んだ器楽作品を一つあげて、その演奏を創りあげる過程で特に学んだことを、技術と表現の点に分けて述べなさい。なお、作品の編成は自由とする。

◎ 作曲

あなたが作曲を学ぶ過程で身についた能力と知識は、クラスの合唱指導においてどのように役立つと考えられるか。

小学校または中学校での授業を想定し、具体的に述べなさい。

◎ 音楽学

平成20年から21年にかけて実施された「特定の課題に関する調査」において、音楽の学習が好きかを尋ねる質問に対して肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）をした児童生徒は小学校で77.6%，中学校で79.5%，音楽の学習は大切だと思うかを尋ねる質問に対して肯定的な回答をした児童生徒は小学校80.5%，中学校71.3%であった。

一方、音楽の学習は普段の生活に役立つと思うかという質問に対して肯定的な回答をした児童生徒は小学校62.1%，中学校54.7%，音楽の学習は将来社会に出て役立つと思うかを尋ねる質問に対して肯定的な回答をしたのは小学校59.3%，中学校49.3%であった*。

この調査結果をあなたはどのように受け止め、解釈するか。今後の学校教育で音楽科の授業をどのように展開していけばよいと思うかを含めて、あなたの考えを述べなさい。

*『特定の課題に関する調査（音楽）調査結果（小学校・中学校）』（国立教育政策研究所教育課程センター，平成22年7月）より抜粋